



# 福生二中だより

No. 7

令和7年11月5日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

## 夢や希望をもたせるということ

10月14日に第2回進路説明会が開催されました。3年生だけでなく、1年生と2年生の保護者の皆様にも参加していただきまして誠にありがとうございました。

さて、昨年度の入試では、全日制高校の志望者のうち、都立高校を第1志望とする割合は約67%で、前年度から約5%下落したと報じられました。また、2022年のデータによると全日制高校への進学率は、都立高校と私立高校を合わせた全体の進学者のうち、都立高校が約51%、私立高校が約33%でした。このことから、都立高校へ進学する割合が減り、私立高校への進学率が上がってきています。

ここで、考えられることは「都立高校の定員割れ」です。都立高校への進学率が減少するということは、定員に満たない学校が増えてしまうということです。実際、二中の近隣の高校でもその現象が起きています。私は、担任をしているとき、三者面談で「志望校はどこですか？」と聞きましたら、「定員割れの高校です」と答えた御家庭がありました。それを聞いたとき、とても残念な気持ちになったことを覚えています。

確かに、御家庭には色々な御事情はあると思います。しかし、「自分は、この高校で〇〇をやりたい」「この高校には〇〇部があるからがんばりたい」という夢や希望をもてずに進学するのは、寂しい気がしますし、入学してから3年間通えるかも心配です。では、夢や希望はどうしたらもたせられるのでしょうか。私は、次のように考えています。

### ① 子供の話をよく聴く

子供の考えや興味、最近の出来事などについて、否定せず耳を傾けたり、「どうして興味をもったの」などと広げたりする対話を繰り返すことが大切だと考えています。

### ② 安心できる家庭環境をつくる

家庭が「自分を受け入れてくれる場所」であることです。親が否定的な言葉ばかりかけると、子供は自己肯定感を失ってしまうと思います。

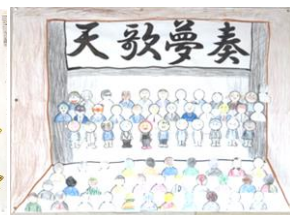
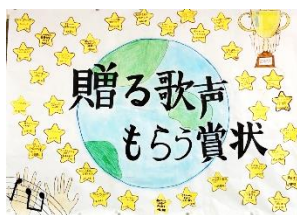
これらのことを、御家庭で意識していただけると幸いです。

## 各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

### 第1学年

「一生懸命はかっこいい」を見せることができた合唱コンクールだったと思います。本番2日前に行われた学年リハーサルでは、「物足りない」と一言生徒に伝えました。それは、普段の1学年の「素直さ」「真面目さ」などの気迫を感じられなかったからです。しかし、約二週間の練習で積み重ねてきた仲間との絆に磨きをかけ、本番では1年生として素晴らしい発表を披露できていました。

この発表を作るために、実行委員・指揮者・伴奏者のように中心となって活動した人や昼休みに学年合唱の練習に有志として参加してくれた人など、クラスや学年のために力を発揮してくれた人が多く出てきました。個人だけでなく学年の成長を感じることできた行事となりました。



### 第2学年

新生徒会と後期専門委員会の各委員長から、全校生徒に向けてお話がありました。

後期からは2年生が生徒会や各委員会の委員長となり、3年生から受け継いだ思いを引き継いで活動していきます。

また、合唱コンクールに向けては実行委員、指揮者、伴奏者を中心に練習を重ね、「聞き合う」「認め合う」「支え合う」ことを大切に取り組みました。

インフルエンザの影響で当日の発表は中止となりましたが、2年生の発表は11月4日(火)に体育館で行いました。今年の経験を生かし、来年度はホールでの発表に向けてさらに成長してくれることを期待しています。



### 第3学年

中学校生活最後の合唱コンクールに向けて常に、実行委員が中心に練習の指示や準備・片付けに率先して取り組む姿があり、またその姿に応えるようにクラスの一人一人が自分のできることを考え、協力し合う姿が見られました。当日を迎える頃には、どのクラスも「最高の歌声を届けたい」という思いがあふれていました。参観していた他学年の先生方からは「3年生、さすがですね」という声も多く聞かれました。そして本番のステージでは3年間の経験が一つに結実した“感動の合唱”が響き渡りました。どのクラスも合唱に込めた思いが伝わって聴く人の心を動かす時間となりました。全員でつくり上げたこの合唱の力を、今後の学校生活にもつなげてほしいと思います。現在、一部の3年生は次のステージとして、創立60周年記念の有志合唱に向けて準備を進めています。節目の年にふさわしい歌声を響かせてくれることでしょう。



## 創立60周年記念第51回合唱コンクール 素晴らしい感動をありがとう!!

今回の合唱コンクールは、2年生の学年閉鎖により、イレギュラーな形での開催となりました。それでも、市民会館で行われた3年生の学年合唱「春に」は、1年生が思わず、後ろを振り返るくらいの「圧巻の合唱」でした。1年生も初めての合唱コンクールでしたが、とても元気な合唱を披露してくれました。2年生は体育館での発表となりましたが、それでも歌に込められた一人一人の想いが聴いている人々に感動を与えました。それが、全学年、全クラスだから、本当に素晴らしい行事となりました。



このような有意義な心に残る素晴らしい時間と感動を与えてくれた生徒の皆さんには心から感謝します。我々教員は、このような素晴らしい生徒と共に過ごすことができ、とても嬉しく思います。そして、確実に、魅力ある学校づくりとスローガンである「謳歌爛漫 ~感謝を歌に感動を咲かせよう~」が達成された瞬間でした。

合唱コンクールにお越しいただきました御来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

### 【二中学生の活躍】

10月25日(土)、福生第四小学校で行われた学習発表会で、二中学生の1年生がボランティアとして、司会進行、受付、エスコートと立派に活躍してくれました。本当は、10月26日(日)の福生第六小学校の運動会のボランティアにも参加を予定してくれていた1年生の生徒がいたのですが、雨のため中止となりました。1年生のボランティアとしての心優しく人のために尽くす姿はとても素晴らしく、誇り高いことだと思います。1年生のボランティアの皆さん本当にありがとうございました。



吹奏楽部 第25回東日本学校吹奏楽大会 銀賞  
陸上部 第78回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会  
男子3年 走幅跳 第6位 6m19 浅野 奏太  
野球部 第8ブロック秋季新人大会 第3位  
バレーボール部 第8ブロック新人大会 第3位  
男子バスケットボール部 第8ブロック秋季新人大会 準優勝  
サッカー部 第8ブロック新人大会 優勝



## 【第3学年 面接練習】

第3学年は、10月27日から進路面談が始まっています。その裏で、面接練習が行われています。本校の面接練習は、教員だけでなくCS委員会の皆様にも協力していただいております。CS委員会の皆様のおかげで緊張感のもとで面接練習を行うことができました。



## 【ふれあい月間（いじめ防止強化月間）】

本校では、11月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」として、生徒一人ひとりが改めて「思いやり」や「つながり」について考える期間としています。

いじめは、決して他人事ではありません。何気ない言葉や行動が、誰かを傷付けてしまうことがあります。一方で、「大丈夫?」「一緒にやろう」といった小さな優しさが、誰かの心を支える力にもなります。この月間を通して、相手の立場に立って考えること、そしてお互いを認め合うことの大切さを、全校で改めて見つめ直していきたいと思います。

学校は、安心して学び、成長できる場所でなければなりません。そのためには、先生たちだけでなく、生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様が一緒になって「いじめのない学校づくり」に取り組むことが大切と考えます。どうか御家庭でも、日々の会話の中で、お子様の心の変化に耳を傾けていただければ幸いです。

お互いを思いやる心が学校全体に広がり、誰もが笑顔で過ごせる温かい学び舎を、皆様と共につくっていけるとどんなに素晴らしいことでしょう。